

第十四回

秦野市

親子川柳大会

入選作品集

発刊に寄せて

親子川柳は二人で協力して作品を作ることによって、普段思っている言葉も言えない家族間の感謝の思いや、ふれあいの言葉を川柳でやり取りすることで、家族の心のつながりを深めることを目的としています。

社会同様に学校でもデジタル化の流れが加速する中、体験活動や人と人とのきずなを深める取組は、ますます重要となってきました。こうした想いも踏まえ、各校には改めて、この親子川柳の意義をお伝えして、ふるさと秦野の特色ある教育活動として積極的な参加をお願いし、その結果、全体の応募作品数は、昨年を上回る千四百二十八作品となりました。

今年度の応募作品では、ユーモアを利かせた何気ないコミュニケーションのほか、帰省した孫が祖父母と対面し、成長を実感する光景が表現されたものや、マスクを外した日常への喜びを交わすものなど、新型コロナウイルスの流行が落ち着いた中で過ごす家族のふれあいがうかがえます。また、友達との交流や兄弟姉妹

とのやり取りを描く子どもの句と、見守る家族の思いを乗せた返句から成るもの、家族への愛情を表現したもの、あるいはその気持ちを素直に表現しないことでかえって思いが伝わるものなど、心温まるようなやり取りが見られます。

こうして川柳として表された会話を通じて、改めて家族間でのコミュニケーションの大切さに気づき、お互いを思いやることや、きずなを深める機会の一助になればと思うとともに、作品を応募していただいた皆さま方には、家族内や学校の仲間にも川柳の楽しさ、面白さを伝えていただき、今後もたくさん素晴らしい作品が集まる事業となるよう御協力お願いしたいと思います。

最後に、作品を応募していただいた皆さまの御活躍をお祈りするとともに、大会の開催に御尽力いただきました志水義夫実行委員長及び大会実行委員の皆さま、大会の周知や作品の受付に御協力いただきました小中学校の先生方、大会へ御後援いただいております各団体の皆さまに心から感謝を申し上げます、発刊のあいさつといたします。

秦野市教育委員会教育長 佐藤 直樹

作品講評

親子川柳大会も今年で十四回目となり、応募総数も千を超え、大きな賑わいを見せております。応募時期がらほとんどが夏休みの食事の世話や献立、旅行に行ったことや友達と遊んだことなど同じような趣向に溢れているのは例年と変わりません。過去の入選作にならった句の語の言い換え・読み替えをすることで問答の体をなすパターンも定着しているようです。でも、だからこそどの作品も優劣つけがたく、「ちよつとちがう」味わいをみせている作品が受賞することになりました。

今回の親子川柳大賞（市長賞）受賞の作品

（母） 宿題は？ 母のカミナリ 聞こえない？

（子） 明日やる ゴロゴロ過ごす 夏休み

の場合、内容は夏休みらしく過ごす子と母のよくある光景ですが、宿題をさせようとする母が夏の風物詩「雷」の語を用いてきつい物言いをしている様子を描き、そのカミナリを「ゴロゴロ」と雷鳴の擬音で受けつつ、母のこともも気にせずダラダラ過ごす子どもの夏休みらしい生活が描いています。

山登りの場を描いたハートフル大賞受賞作品は「頂上」から「絶景」へと展開する中に兄妹の姿をおき「息子の背」でこれから歩んでゆくであろう子の未来への期待をこめて結ばれています。ベストファミリー大賞受賞作品は「熱の時だけやさしい」母の姿とその「やさしい」母の、子の看病に取られる時間を取り戻したい本音が見える面白さと同時に、「学校に行く」健康の回復を願うツンデレ的ほのぼの感が面白いところですよ。

特別賞受賞作品も、事実を五・七・五で伝達するのではなく、その事実を生んだ状況や思いがよりひろがる世界に言葉で織りあげています。

入選はしていませんが、方針として集団参加している学校からの応募作品の中には「川柳なんてなんでやるの?」「宿題だから仕方ないでしょ?」「みた

いなやりとりを描いた作品も複数見られました。思いが素直に出ているのはいいのですが、そこに一ひねりほしかった。

川柳は言語芸術です。という高度な営為にきこえますが、要はことばであそぶ世界です。遊び心にみちて、なおかつ生活するなかの心のゆらぎが描かれた作品がこれからも作られ応募されてくることを期待します。

実行委員長兼審査委員長 志水 義夫

入

賞

親子川柳大賞（市長賞）

（母） 宿題は？ 母のカミナリ 聞こえない？

（子） 明日やる ゴロゴロ過ごす 夏休み

西小学校三年 杉山 琥桜 母 美里

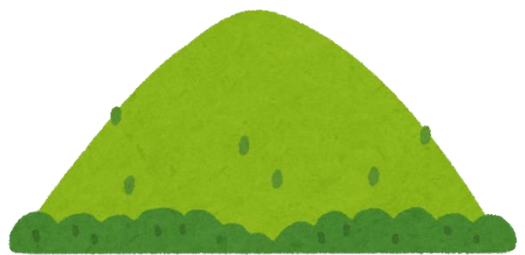


ハートフル大賞（議長賞）

（子） 妹の 背を押し目指す 頂上を

（父） 絶景は 助ける姿 息子の背

西中学校三年 塙 亘太 父 和彦



ベストファミリー大賞（教育長賞）

（子） どうしてママ 熱の時だけ やさしいの

（母） 一刻も 早く学校 行ってくれ



鶴巻小学校三年 野畑 はな 母 まゆみ

特別賞 秦野商工会議所賞



(祖母) あらレジに 店員いないわ どうしましょう

(孫) おばあちゃん これが今どき セルフレジ

末広小学校三年 山下 愛音蘭 祖母 久美子

特別賞 秦野市農業協同組合賞



(子) つかめたよ かごいっぱいの かぶとむし

(父) つかんでね その手でいつか 君の夢

南が丘小学校二年 高橋 美琴 父 亮

特別賞 秦野ロータリークラブ賞

(母) 気をつけて 見送る背中に おまじない

(子) おかえりと 迎える母に ありがとう

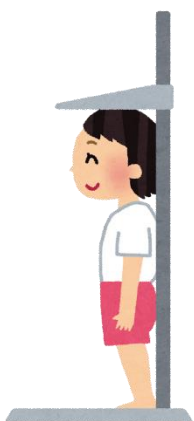


東中学校一年 篠原 永菜 母 杏里

特別賞 秦野ライオンズクラブ賞

(子) いつだるう 母の身長 めかせる日

(母) あと少し かわいい日々を かみしめる



東小学校五年 宗像 まな 母 富美奈

特別賞 秦野丹沢ライオンズクラブ賞

(子) 使えぬ手 感じた友の あたたかさ

(母) 支え合おう 生涯の友 大切に

西小学校六年 小松 茉奈 母 清華



特別賞 秦野名水ロータリークラブ賞

(母) 暑いから エアコンの部屋 集合よ

(子) いつもより 家族で過ごす 夏休み



大根中学校一年 古川 琥汰郎 母 宏枝

特別賞 秦野あづまライオンズクラブ賞

(子) 笛がなる ガードの役目 後輩へ

(母) 惜敗の 靴紐を解く 君の背よ

東中学校三年 頼 晴斗 母 あずさ



特別賞 秦野市PTA連絡協議会長賞

(子) チェーン閉め 防犯完璧！ いざ昼寝

(母) 閉め出しも 怒れず待つこと 一時間…



末広小学校五年 鈴木 陽大 母 由希子

佳

作

(母) なつかしき 抱っこで見上げた あの花火

(子) 高台で かたを並べる 夏の夜

大根中学校一年 木原 由葵 母 智永子

(子) 寝た時と 違う布団で 朝起きる

(母) 攻め込まれ 行き場をなくし 目が覚める

末広小学校三年 綾部 実咲 母 恵美子

(祖父) 送ったぞ 米とりんごを いっぱい喰(け)

(孫) 届いたよ 岩手のおい 胸いっぱい

南が丘小学校六年 高橋 玄 祖父 佐藤 律男

(子) まぶしいな 夏の日差しが 強すぎる

(母) サングラス かけて助手席 大人ぶる

広畑小学校五年 森口 ひなた 母 まゆ

(母) ぎゅっとして ふたりになると あまえんぼ

(子) おねえちゃん だけどまだまだ あまえたい

南が丘小学校一年 高橋 悠乃 母 麻子

(母) 十三の 時を経て今 子を仰ぐ

(子) 母の背は 身長以外 まだ越えぬ

鶴巻中学校二年 谷津 志穂 母 徳世

(子) 夏休み 花火がパチパチ はじけとぶ

(母) 花火咲く 君の笑顔も はじけとぶ

上小学校四年 原 桜真 母 知恵

(子) 塾部活 毎日空きない 夏休み

(母) 稼ぎ時 毎日商い 夏休み

南が丘中学校二年 伊藤 堇 母 桃子

(子) 寝坊して ふと空みたら 入道雲

(母) かくごしろ 母の雷 警報級

大根中学校二年 森 優月 母 育子

(母) 異常気象 どうしてこんなに 多いのか

(子) 異常起床 どうしてこんなに 眠いのか

西小学校五年 小賀坂 羚 母 真代

(子) ごはんなに？ カップラーメン たべたいな

(母) ありがとう ごはんづくりも なつやすみ

上小学校一年 五十嵐 琥珀 母 美和

(母) 夏祭り 浴衣に綻ぶ 子の笑顔

(子) 帯結び 綻ばないよう 母の技

南が丘中学校二年 伊藤 堇 母 桃子

(母) あらキレイ ヒモあとのない 日焼け顔

(子) ママもだよ 口紅つけた その笑顔

末広小学校五年 原田 萌叶 母 龍子

(子) 夏祭り 虫さんたちも やってるね

(母) お囃子に 合わせて響く 宵の蝉

南が丘小学校四年 伊藤 菖 母 桃子

(子) 女子会で 私はコーラ 母はサワー

(母) 週末の ホツとひととき 母子(ははこ)の宴

鶴巻小学校五年 関 朱里 母 有佳里

(子) 迎え火の 灯をたより 先祖来る

(父) 残された 子孫の笑顔が 送る灯火

大根中学校一年 鎌田 心優 父 直樹

(子) これ買って あれも買ってよ すぐ買って！

(母) また値上げ 娘(こ)の声ひびき 音(ね)を上げる

南小学校二年 小林 千織 母望

(子) いもとうは ウソ泣きするの じょうずだな

(父) 父親は ウソ泣きすらも ゆるしちやう

北小学校五年 黄金井 美柚 父一隆

(祖父) かわいいな 孫にあげるぞ おこづかい

(孫) おかしいぞ じいじ昨日も もらったよ

北小学校六年 渋谷 宙汰 祖父 一男

(子) さびしいな ママがとなりに いないよる

(母) さびしい?と 聞かれて「フン」と 強がる夜

上小学校二年 関 こみち 母 優子

(父) 逃がさない 子供ごころと カブトムシ

(子) 逃がせない とらえた虫と 親ごころ

広畑小学校四年 斧田 蓮 父 龍太

(子) 妹が マネばつかする 夏休み

(母) お姉様 言葉使いに 気をつけて

末広小学校五年 込山 楓佳 母 香織

(祖母) 孫来たよ 背が抜かされた 笑顔の盆

(孫) また来るね 来年は父を 越えたいな

大根中学校一年 伊藤 博樹 祖母 武田 弘子

(子) いつだろう まともに貰った お小遣い

(母) あげてるよ お金じゃなくて 愛情を

大根中学校二年 畠 愛羅 母 祐子

(孫) お願いが 買っておいでね 返すから

(祖父) 可愛いと 許してしまおう 孫詐欺よ

渋沢中学校二年 伊藤 大琥 祖父 小清水 芳則

(子) 夏休み 親子川りゆう めんどくさい

(父) まあいいじゃん 親子の会話 うまれるし

北小学校四年 小濱 穂乃果 父 紘一

(祖母) 汗光る 君の笑顔に いやされて

(孫) いつまでも 長生きしてね おばあちゃん

北小学校五年 桐渕 蘭 祖母 古賀 敦子

(子) この夏は 天気変動 心配だ

(母) コロコロと 変わる心と 同じだね

大根小学校六年 石井 音都夏 母 史子

(子) およいだよ みんなでプール たのしいな

(父) かえりみち かわいいねがお たからもの

渋沢小学校一年 安藤 優花 父 淳

(子) かつこよく 今年はやるぞ 太鼓連

(父) 父こえる 祭りばやしの 響く音

末広小学校五年 原 杏菜 父 敦彦

(子) 明日から もつとがんばる お手伝い

(母) 熱意だけ 伝わったから ありがとう

本町小学校四年 夏莉 大旗 母 友子

(子) 増えたかな? 胸膨らませ weight 測る

(母) 増えないで! 腹凹ませて エイツ!と測る

北小学校二年 石川 大誠 母 陽美

(子) そのおなか いつになったら 減るのかな

(父) まかせろよ 腹は毎日 へっっている

大根小学校五年 齊藤 一鳳 父 圭樹

(母) 汗だくで 三食作る 寮母かな

(子) おひるそば ラーメンうどん もうあきた

上小学校四年 高橋 香蓮 母 弓恵

(子) 妹に ケンカを仕掛け 怒られる

(母) 4歳に 本気になるな 9歳児

広畑小学校三年 杉山 稜 母 香衣

(母) 好きなもの ママのごはんで 何が好き？

(子) 一緒に 手づくりをする ハンバーグ

末広小学校三年 門脇 りん 母 友子

(父) あと何年 娘と宿題 やれるかな

(子) あと何問? 宿題終わらせ あそびたい

本町小学校三年 米盛 美穂子 父 誠治

(子) ままのため なんでもするよ おてつだい

(母) たすかるよ ママはお昼寝 いいきもち

南小学校二年 加藤 大稀 母 智美

(子) やれやれと ヤル気なくすよ お母さん

(母) 夏休み 宿題やらせる やれやれだ

南小学校三年 藤原 玲奈 母 杏奈

(子) 運動会 フェスとスキーで 卒業式

(母) 最後まで 思い出作り 全力で

広畑小学校六年 長島 杏奈 母 美香

(子) 八月に 緑のク리가 落ちている!!

(母) 暑いから 夏バテかもね クリの実も

末広小学校四年 杉崎 真宏 母 敬恵

(母) 夏祭り お手伝いした ごほうびは?

(子) シロップを たくさんかける かき氷

末広小学校五年 伊藤 陽香 母 聖子

(子) 親ころころ パパといっしょに ねてあげる

(父) エアコンの 効き確かめる 熱帯夜

堀川小学校六年 大平 惺陽 父 恭弘

(子) お母さん 虹(にじ)が出ている 上見てもよ

(母) 下見てもよ 足元ぬれて 水たまり

南中学校一年 飯田 康太 母 恵

(母) 流星群 見付けて騒ぐ 母姉妹

(子) 騒がずに 心の中で 金、金、金

東中学校二年 牧嶋 虎太朗 母 由香里

(子) すだれ裏 今日もあいつが やってきた

(母) 涼んでも いいから鳴くな アブラゼミ

大根中学校一年 新井 寛翔 母 かおる

(子) うるさいな 開きっぱなし 親の口

(母) いやならば だまらせてみなよ 成績で

大根中学校一年 西ヶ谷 璃歩 母 広子

(子) 夏まつり とれずにないた きんぎよすくい

(母) 母こそは! とれずにごめん 親子だね

西小学校二年 三川 華保 母 瑞紀

(子) ねこかいぬ わが家に一匹 招きたい

(父) 君たちを 育てるだけで 手一杯

末広小学校六年 萩原 結衣 父 浩樹

(母) ランドセル とても良いのを 選んだね

(子) 選択肢 全て大人の 趣味・希望

鶴巻小学校六年 伊藤 りさ 母 奈保子

(子) あつすぎて 日かげに集まる 小鳥たち

(父) うだる空 されど発つ鳥 おつとめか

南小学校四年 松本 結子 父 浩一

(父) 妻と子で 作る夕食 目を細め

(子) 見てないで パパも一緒に 手伝って!!

東小学校六年 牧嶋 凜香 父 洋一

(子) 夏の朝 目覚まし要らず セミの声

(母) それはいい 部屋に何匹 いれよかな

北小学校五年 小山田 花音 母 千賀

(子) 夏休み 早ね早起き パパ起きて

(父) 盆休み まだ寝かせてと 子にたのむ

西小学校四年 村上 明花 父 邦男

(父) 川遊び 冷たい水で はしゃぐ父

(子) 冷やかな 視線を送る 私の目

広畑小学校二年 鈴木 華菜 父 尚巳

(子) 大好きで ずーっといっしょに いたいよう

(母) 聞かせたい 高校生の 私と貴女に

鶴巻小学校四年 西端 美稀 母 慶恵

(子) おこづかい 欲しい気持ちで お手伝い

(母) お手伝い 終わる間際に 追加する

大根中学校一年 土田 龍斗 母 正子

(妹) 夏休み いつまで寝てる？ お兄ちゃん

(兄) 妹よ 節電のため 夜勉強

広畑小学校一年 船生 紗花 兄 凌玖

(孫) スイカわり 命中したが 木がおれた

(祖母) スイカわり わられたスイカ こなごなだ

広畑小学校四年 佐藤 光翼 祖母 中川 昌江

(子) ことしはさ セミのなき声 はやいよね

(母) マスク取れ セミの合唱 よく届く

渋沢小学校三年 高島 さくら 母 可苗

(子) やつと来た マスクはずせる 夏休み

(母) ついに来た 顔パンツはずす 日常が…

堀川小学校四年 柳川 隼祐 母 敦子

(父) 夏休み ライフジャケット 魚釣り

(子) 暑すぎる ぼくも魚も やる気ない

鶴巻小学校一年 平戸 希空 父 浩一郎

(子) お父さん つりつてなんで つれないの？

(父) つれなくて ボケつとするのが いいんだよ

西小学校五年 大澤 俊太 父 友志郎

(母) 考えて 川柳あるよ 宿題で

(子) またあるの 川柳やだな ママやって

広畑小学校五年 本間 瑚啓 母 摩記

(子) ママとパパ 二人で同じ 生ビール

(父) 今日くらい 二人楽しい 生ビール

西小学校五年 大木 志織 父 堅太郎

(子) かんぜんに ただの水だよ かきごおり

(父) 溶ける前 早く食べてよ かきごおり

上小学校二年 室伏 棕介 父 政人

(子) お父さん 親子川柳 考えよう

(父) どうしよう そろそろネタが つきてきた

広畑小学校四年 竹脇 湊斗 父 克典

(子) 夏休み 親子川柳 何も出ず

(母) 夏休み 親子川柳 ヤレヤレと

末広小学校五年 丸山 瑚菜 母 夕子

(子) すいかわり 目の前まっくら 割れるかな

(母) ばらばらだ 母は片付け 汗流し

鶴巻小学校三年 丸岡 海人 母 桃子

(子) おぼえてね キシーミシーに ブンゾバニー

(父) ととてもむり キンキンミンミンシン ブンゾーさん

広畑小学校二年 谷屋 朱莉 父 彰

(子) たのしいな たのしいなつ たのしみだ

(母) 楽しんで 学習も含め 夏休み

大根中学校二年 井口 剛志 母 裕佳



第十四回秦野市親子川柳大会

☆事業概要

募集期間 一次募集 令和五年五月一日～六月三〇日
二次募集 令和五年七月二〇日～九月二日

対象者 市内在住・在学の小・中学生とその家族

表彰式 令和五年十一月十二日(日)午後二時

秦野市役所教育庁舎三階 大会議室

☆応募結果

応募総数 一四二八点

小学生 一一二九点 中学生 二九九点

☆掲載作品

入選八二点(入賞一点・佳作七一点)

小学生入賞七点・佳作五六点

中学生入賞四点・佳作一五点

☆秦野市親子川柳大会実行委員会

委員長 志水 義夫(東海大学文学部教授)

副委員長 小泉 道生(社会教育委員)

委員 吉原 揚子(社会教育委員)

委員 高橋 明久(秦野市立北小学校長)

委員 田中 理絵子(秦野市立北中学校長)

委員 長谷川 栖子(秦野市PTA連絡協議会委員)

委員 栗原 めぐみ(秦野市PTA連絡協議会委員)

☆共催

秦野市PTA連絡協議会

☆後援団体

秦野商工会議所

秦野市農業協同組合

秦野ロータリークラブ

秦野ライオンズクラブ

秦野丹沢ライオンズクラブ

秦野名水ロータリークラブ

秦野あづまライオンズクラブ

※敬称略、順不同

第十四回秦野市親子川柳大会入選作品集

発行

令和五年十一月十二日

秦野市文化スポーツ部生涯学習課

秦野市桜町一―三―二

電話 〇四六三―八四―二七九二

